細菌や色素の吸着

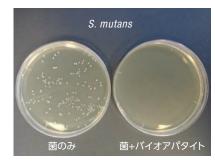
■ 細菌の吸着

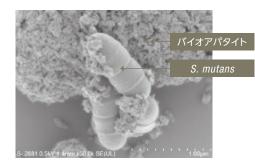
バイオアパタイトは、表面が複雑で表面電位を帯びていることによりタンパク質や細菌、色素を吸着 することも確認されています。



吸着動画はコチラ ▶

バイオアパタイトの粒子は特にう蝕原因菌(S. mutans)や歯周病菌(P. gingivalis)に対して優れた吸着力を有しています。





吸着試験後の上澄み液を48時間培養

バイオアパタイトがう蝕原因菌(S. mutans)を 吸着している様子

代表的なう蝕と歯周病菌の吸着率(%)

	菌種	う蝕原因菌	歯周病原因菌
	吸着率(%)	S. mutans	P. gingivalis
		98	92

国立感染症研究所にて実施

■ 色素の吸着

歯の汚れの原因となる色素に対してもバイオアパタイトは優れた吸着力を有しています。

吸着試験:赤ワイン





歯を白くする「ポリリン酸ナトリウム」、 汚れを浮かす「PEG-400」などの成分を配合しています。

〈内容成分〉 グリセリン、水、ヒドロキシアパタイト、シリカ、PEG-400、セルロースガム 香料、ポリリン酸Na、エタノール、シメン-5-オール*1、セチルピリジニウムクロリド*2 ※1:IPMP配合 ※2:CPC配合



メルサージュ AP プロ

●香味:ユズミント • パラベンフリー

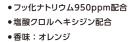




メルサージュ 各1本 40g フッ素500ppm配合 レギュラー(粗粒・ミント) ファイン(細粒・レモン)



メルサージュ プラス 薬用歯磨 医薬部外品





メルサージュ(カップ) 各1箱 36本入 最高許容回転速度: 2,000min-1

CAタイプ No.2, No.3



メルサージュ(カップ) 各1箱 36本入 再使用禁止 最高許容回転速度: 2,000min-1 スクリュータイプ No.12, No.13



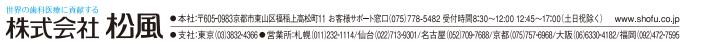
ご使用の際は添付文書等をよく読んでお使いください。

このカタログに記載の価格は2022年5月現在の標準医院価格(消費税抜き)です。











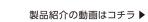




卵殻由来の新素材バイオアパタイト®配合

メルサージュ APプロで 上質なトリートメントケアを



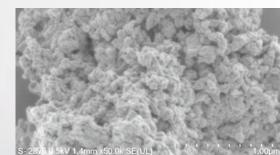




卵殻由来の新素材 「バイオアパタイト®」配合

BIOAPATITE®は Bio(バイオテクノロジー)+Apatite(アパタイト:Ca10Y6Z2)の意。

バイオアパタイトは独自の湿式製法で合成されたアモルファスのアパタイトで、 生体組成により近い構造を持ちます。分子の一つひとつは凝集しているだけで、 強く結びついているわけではありません。そのため、他の物質に対して柔軟な 反応を示し、吸着力にすぐれています。



バイオアパタイトの平均粒径(2次粒子)は約5μm、1次粒子(20 ~50nm) が凝集しています。チョークやベビーパウダーの原料に 使われてきた粉体本剤より粒子は細かく滑らかです。

すっきりさわやかな ユズミントフレーバー パラベンフリー

アレルゲンを含まない バイオアパタイト®

バイオアパタイトは国内の衛生管理された卵殻を原料 として使用しています。

約1000℃の高温で焼成・精製しているためアレルゲン は含まれておりません。







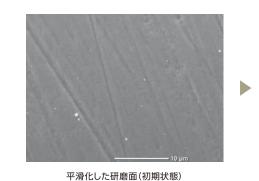


メルサージュ AP プロは歯質の平滑化、 修復することも確認されています。

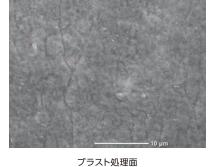


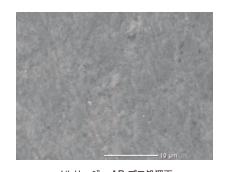
平滑化と修復の動画はコチラ ▶

平滑化した牛歯エナメル質をメルサージュ エピック2in1(グリシンパウダー)にてブラスト処理後、ブラスト部分をメルサージュ AP プロで 処理し、37℃で1週間保管。その後、走査型電子顕微鏡(SEM)にて観察。



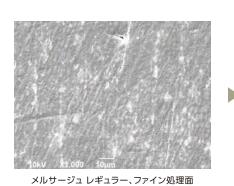
■ 歯質の平滑化

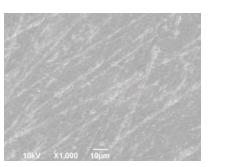




メルサージュ AP プロ処理面 鶴見大学歯学部歯科理工学講座にて実施

牛歯エナメル質を耐水研磨紙で表面を粗造化し、メルサージュ レギュラー、メルサージュ ファインで各20秒研磨。 その後、メルサージュ AP プロで10秒処理し、走査型電子顕微鏡(SEM)にて観察。



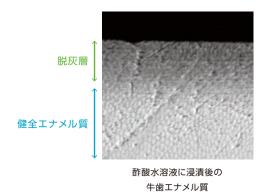


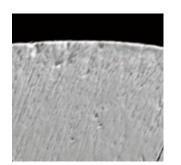
メルサージュ AP プロ処理面

自社独自試験

■ 歯質の修復

牛歯エナメル質を耐水研磨紙(#4000)で研磨後、0.5mmol/Lの酢酸水溶液に浸漬し、脱灰層を形成。その後、半面をマスキングすることで脱灰 層を残し、マスキングされていない半面に対して、メルサージュ AP プロを処理した。その後、37℃で2週間保管(1週間毎にペーストを交換)。 電子線プローブマイクロアナライザー(反射電子像)にて観察。





メルサージュ AP プロで処理した後の

鶴見大学歯学部歯科理工学講座にて実施

メルサージュ AP プロはPMTC後のトリートメントケア以外に以下のケースにもお試しください。

ステインが付着しやすい方

- ホワイトニング後のトリートメント
- エナメル質にクラックや白濁がみられる歯のう蝕予防 ディボンディング後のエナメル質のトリートメント
- ・萌出中、萌出後の脆弱な永久歯のう蝕予防

使い方動画はコチラ ▶ ■



Example1 ステインが付着しやすい方

PMTC後、メルサージュカップNo.14Pにメルサージュ AP プロをたっぷり採取し、歯面全体にすり込むように塗布する。









Example 2 隣接面にクラックや白濁がみられる歯のう蝕予防に

PMTC後、メルサージュ AP プロをメルサージュカップNo.13と併せてデンタルフロスを使用して隣接面に塗布する。







症例紹介はコチラ ▶ Example3 萌出中、萌出直後の脆弱な永久歯のう蝕予防

萌出中や萌出直後の永久歯は石灰化が不十分で、表面には凹凸が多く着色やプラークが停滞しやすく酸に侵されやすいため、 幼若な永久歯をう蝕から守るためにメルサージュ AP プロを使用。















Example4 アライナーのアタッチメント除去後のトリートメント







AP プロ仕上げ後

症例写真提供: デンタルクリニックK、古畑歯科医院